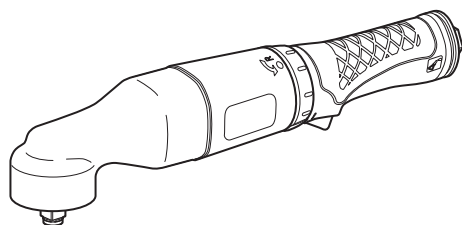


ねじ締め用空圧工具

品番

AIM-240PA

エアインパクトレンチ



各部の名称と機能	2～3
本体各部	2～3
付属品	2～3
安全上のご注意	4～5
警告	4～5
注意	5
ご使用前の準備	6～8
インパクトレンチ用ソケット・ カプラプラグの取り付け方	6
エアモータ部への給油	7
市販のミニオイルを 取り付けて使用する場合	8
使用方法	9～11
使用方法	9～10
エアパーツ接続例	11
保守と点検	12～13
グリース注入口へのグリース充填	12
作業後のお手入れ	13
故障かな?と思ったら	14
仕様	16

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

このたびはエアインパクトレンチをお買い求めいただき、ありがとうございます。

この商品は、ボルト・ナットの仮締め、ゆるめ作業に使用する空圧工具です。

●正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に本取扱説明書を必ず読み、記載の手順に従ってご使用ください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる場所に、大切に保管してください。

●第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。

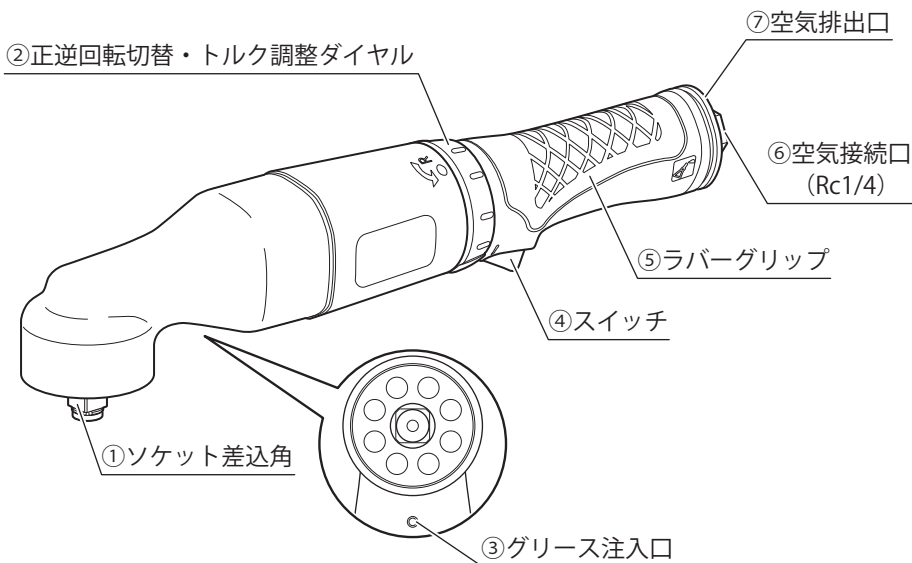
●本取扱説明書の裏表紙は、保証書となっております。販売店より「お買上げ日・販売店名」などの記入があることをお確かめください。

●当商品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは当社（下記・裏表紙記載）にご連絡ください。



各部の名称と機能

■本体各部



各部の名称

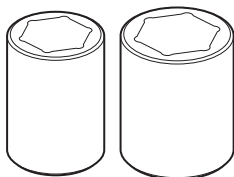
安全上のご注意

ご使用前の準備

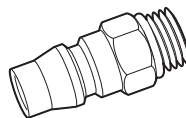
使いかた

その他

■付属品



⑧インパクトレンチ用ソケット
(17・19mm)



⑨カプラプラグ (R1/4)

梱包内容の確認

開梱後、下記の物が揃っているかご確認ください。
不足している場合は、販売店または発売元までご連絡ください。

No.	名 称	機 能
①	ソケット差込角	ソケットをここに差し込みます。 サイズ:12.7mm(1/2DR)
②	正逆回転切替・トルク調整ダイヤル	ソケットの回転方向と、回転の強さを切り替えます。 正・逆回転・トルクの強弱(正回転のみ) P9 ▶
③	グリース注入口	本機へのグリースの注入の際に使用します。 P12 ▶
④	スイッチ	引くと始動し、ソケットが回転します。放すと停止します。
⑤	ラバーグリップ	使用時にここを握ります。
⑥	空気接続口 (Rc1/4)	カプラプラグ・別売のミニオイルを取り付ける接続口です。
⑦	空気排出口	エアモータ部で不要になった空気が排出されます。

各部分の名称

安全上の注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

No.	名 称	機 能
⑧	インパクトレンチ用ソケット (17・19mm)	ソケット差込角に差し込んで使用します。
⑨	カプラプラグ (R1/4) (ナイロック加工付)	空気接続口に取り付けて使用します。



安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分しています。

⚠ 警告

『死亡や重傷を負う、または火災が発生するおそれがある内容』です。

⚠ 注意

『傷害を負う、または物的損害が発生するおそれがある内容』です。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で区分しています。



してはいけない内容
『禁止事項』です。



必ず実行していただく内容
『強制事項』です。

⚠ 警告



取扱説明書をよく読み、指示に従う。

・取扱説明書に記載された内容以外での使用は、事故の原因となります。



ボルト・ナットの締め付け（仮締め）ゆるめにもみ使用する。

・指定用途以外へのご使用は、重大な事故の原因となります。



下記の条件を満たす場所で使用する。

- 雨や水などがかからない、乾燥した場所
- 可燃性のガスや液体、揮発性可燃物や火気が近くに無い場所
- 足場が水平で、安定している場所
- 十分に明るく、ゴミやホコリの無い片付いた場所
- 子どもや、使用者以外が近付かない場所

・上記に反する場所での使用は、火災や感電、爆発などの重大な事故や、けがの原因となります。



分解禁止

分解・改造を行わない。

・修理はお買い上げの販売店、または発売元までご連絡ください。










保護メガネ・耳栓・作業用手袋を着用する。

- ・保護メガネは、作業中に万が一ソケットやボルトやナットが破損した場合に、破片から目を保護します。
- ・作業用手袋は、回転するソケット・ボルト・ナットから手を保護します。









エアインパクトレンチ専用のソケット（先端工具）を使用する。

・エアインパクトレンチは、衝撃を加えることで強力に締め付けます。エアインパクトレンチ用以外のソケットは、衝撃に耐えられず破損する恐れがありますので、必ず専用のソケットを使用してください。

-  回転中のソケットに身体を近づけない。
・けがの恐れがあります。
-  モータの回転が停止するような無理な使い方は行わない。
・安全に能率よく作業するために、本機能力に合った速さで作業してください。
能力以上でのご使用は事故の原因となります。
-  傷が付いていたり、破損の恐れがあるエアホースは使用しない。
・ホースが破損する恐れがあり危険です。
-  エアホース以外のホースを使用しない。
・エアホース以外のホースを使用すると、ホースが破損する恐れがあり危険です。
-  空気圧力は0.60MPa以内で使用する。
・0.60MPaを超えた圧力で使用すると、本機が破損する恐れがあります。
-  使用後や、保管点検の際は必ずエアホースを本機から外す。
-  定期点検を実施する。
・損傷した部品がある場合は、お買い上げの販売店、または発売元へご連絡ください。

注意

-  本機は大切に取り扱い。
・転倒や落下などの衝撃により破損や故障が起こり、事故の原因となります。
・上に座ったり、重量物を乗せたりしないでください。破損や転倒によるけがの原因となります。
-  8.5mm
推奨
本機的能力を十分に発揮するために、内径8.5mm以上のホースのご使用をおすすめします。
-  空転や空打等の無負荷運転は避ける。
・部品の磨耗を早め能力低下の恐れがあります。
-  清浄な乾燥した圧縮空気を供給する。
・ドレンの錆び付きや、焼き付きを防止し、本機の寿命を長持ちさせます。
-  使用空気圧力は一定の空気圧で使用する。
・空気圧の変動により各部の磨耗を早めたり、能力低下の一因となります。
-  下記の条件を満たす場所で保管する。
・雨や水などがかからない、乾燥した場所 ・直射日光の当たらない場所
・子どもや、管理者以外が近づかない場所



ご使用前の準備



必ずエアホース内の空気を抜き、本機からエアホースを外して行ってください。

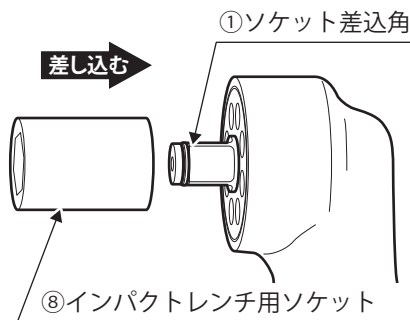
■インパクトレンチ用ソケット・カプラプラグの取り付け方

1

使用するソケットを、本機のソケット差込角にしっかりと奥まで取り付けてください。



差込角 12.7mm (1/2DR) のインパクトレンチ専用ソケットを使用してください。



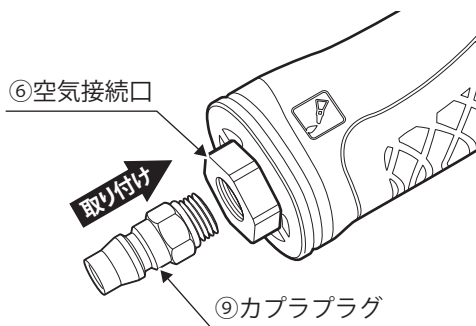
2

本機の空気接続口に、カプラプラグを取り付けてください。

- 空気接続口のキャップを外してから、カプラプラグを取り付けてください。

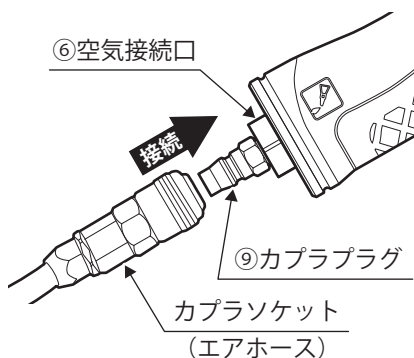


付属のカプラプラグは接続部分からの空気漏れを防ぐ、ナイロック加工が施されているため、シールテープの巻き付けが不要です。



3

取り付けたカプラプラグにエアホース（別売）を接続してください。





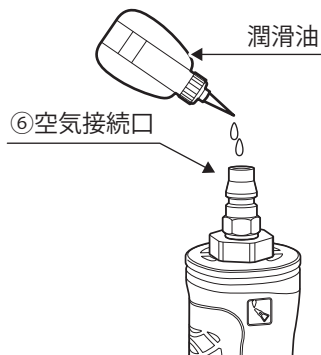
使用する際は、必ず給油を行ってください。
圧縮空気中の水分で錆が発生し、本機が動かなくなることがあります。

本品にはオイルは付属されておりません。市販の粘度ISOVG32タービンオイル、または粘度ISOVG10スピンドルオイルをご用意ください。

■エアモータ部への給油

1

エアホースを接続しない状態で、本機のスイッチを引いたまま空気接続口よりオイルを5～6滴入れてください。



2

しばらくスイッチを引いた状態にして、オイルを十分に本体内部に回してください。

3

エアホースを接続し、正・逆回転で約 30 秒間ずつ運転してください。



オイルを入れすぎると、空気排出口からオイルがにじむことがあります。
その場合はタオル等で拭き取ってからご使用ください。

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

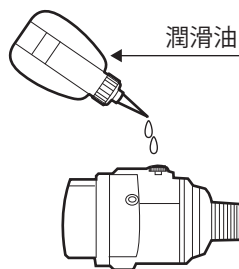


ご使用前の準備

■市販のミニオイルを取り付けて使用する場合

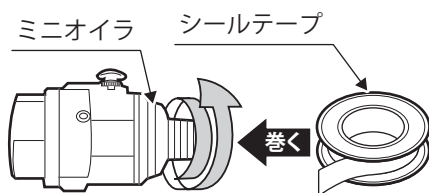
本品にはミニオイル・シールテープは付属されておられません。市販のミニオイルを取り付けることでエアツール内部への潤滑油の供給が簡単に行えます。

- 1** ミニオイルをご使用の場合は、粘度ISOVG32タービンオイルか、粘度ISOVG10スピンドルオイルの潤滑油を給油してください。

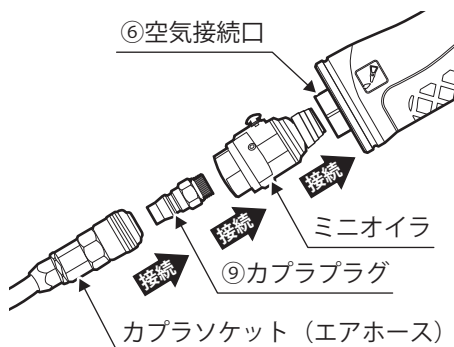


- 2** 給油したミニオイルのねじ部に、シールテープを2~3回程度巻き付けてください。

- シールテープは矢印の方向に巻き付け、空気が漏れないようにしてください。



- 3** 本機の空気接続口にミニオイル、カプラプラグ、エアホースを接続し、ご使用ください。





使用方法



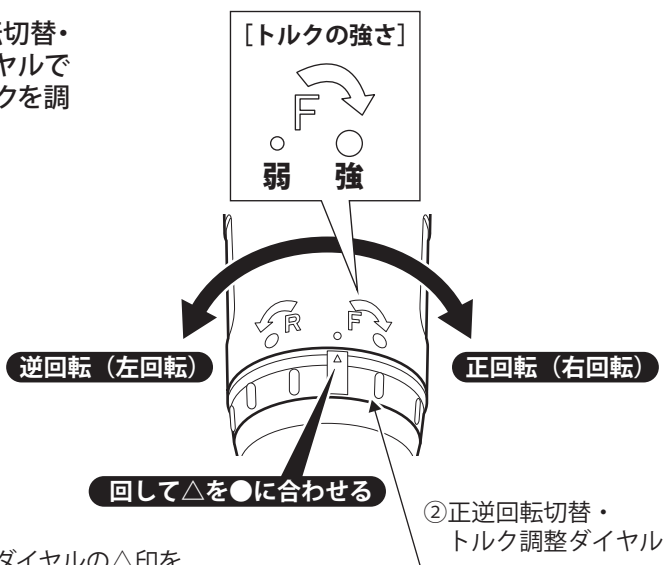
ご使用の際は粘度 ISOVG32 タービンオイルか、または粘度 ISOVG10 スピンドルオイルの潤滑油を必ず 5～6 滴程空気接続口より給油するか、または市販のミニオイル（注油済みのもの）を接続してご使用ください。P7・8

コンプレッサは 1.10kW{1.5PS} 以上を推奨します。
小型のコンプレッサでも使用はできますが、空気が溜まるまで待つ断続的な作業になる可能性があります。

■使用方法

1▶ コンプレッサの吐出空気圧力を0.60MPaに合わせてください。

2▶ 本機の正逆回転切替・トルク調整ダイヤルで回転方向とトルクを調整してください。



● 正逆回転切替・トルク調整ダイヤルの△印を F に合わせると正回転（右回転）し、R に合わせると逆回転（左回転）します。

● トルクは正回転（F）のみ二段階（弱・強）に調整できます。

数値の詳細は、仕様をご覧ください。P16

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

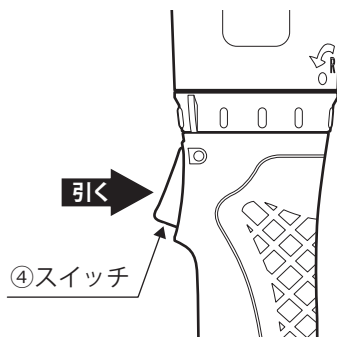


使用方法

■使用方法（つづき）

3 本機のスイッチを引くと、ソケット差込角と連動してソケットが回転します。

- 仮締め、またはゆるめたいナット、ボルトに合ったサイズのソケットをご使用ください。



本機は仮締め専用です。締め付け過多にご注意ください。仮締め後、トルクレンチで適正な締め付けトルクを確認し、本締めを行ってください。ボルトやナットの締め付け不足、過多による損傷や磨耗は重大事故の発生原因となります。



錆び付いたボルトやナットは回らないことがあります。3～5回程度スイッチを引いて、回らない時は無理をせず、大きい力のツールをご使用ください。

各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

ダスタ

圧縮空気の力を利用してちりやほこりを吹き飛ばします。エアのみ噴出する最もポピュラーなタイプです。



エアスプレーガン

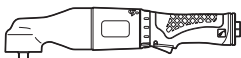
圧縮空気の力を利用して、金属・木工・プラスチック等の表面塗装が行えます。



オイル給油不要

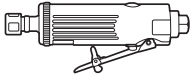
エアインパクトレンチ

エアモータの回転力でボルトやナットに衝撃を加えて回転させ、強い力で締め付けや緩めることができます。



エアグラインダ

エアコンプレッサで圧縮された空気を使って、エアモータの回転力を砥石に伝え、研磨・研削作業を簡単に早く行うための工具です。



エアハンマ

エアコンプレッサで圧縮された空気をを使って、ピストンの往復運動をチャゼルの伝え、コンクリート・モルタルのハツリ作業等を行う工具です。



エアカッタ

エアモータの回転力を切断部のカッタに伝え、いろいろな金属板を高速で切断する工具です。



オイル給油必要

カプラソケット ウレタンホース用

ワンタッチでカプラプラグとの接続が可能です。ホースバンドでの固定が不要です。

ミニエアダスタ

軽量で使いやすく、ワンタッチで作業ができます。

オイル給油不要



ウレタンチューブ チューブ用継手

軽量なので、小型エアツールに最適です。

エア経路がワンタッチで分岐可能。

ベアカブラ

レギュレータでの調整圧力の確認に必要です。

圧力計

レギュレータ

圧縮空気の圧力調整に必要です。

オイル

圧縮空気と一緒にオイルを供給しツールの潤滑を行います。

ビニールホース

カプラソケット ビニールホース用

ワンタッチでカプラプラグとの接続が可能です。ホースバンドでの固定が必要です。

※ホース口での接続は、ホースバンドで締め付けます。

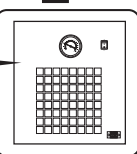
※ねじの接続には、パイプシール（シールテープ）を巻きます。

圧縮空気

圧縮空気

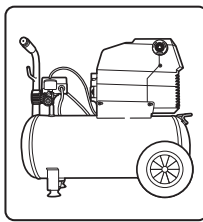
圧縮空気

エアドライヤ
乾燥したエアの供給に



エアフィルタ

圧縮空気中の水滴やダスト油の除去に



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



保守と点検

■グリース注入口へのグリース充填



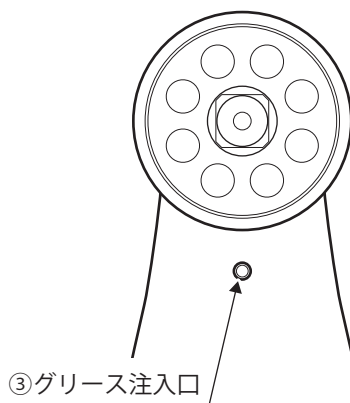
目安として3ヶ月に1回の充填を行ってください。



必ずエアホース内の空気を抜き、本機からエアホースを外して行ってください。

1

本機のグリース注入口へ二硫化モリブデングリース（ちょう度#2）を市販のグリースガンを使用し、適量を充填してください。



各部の名称

安全上のご注意

ご使用前の準備

使いかた

その他

■作業後のお手入れ

1 エアホース内の空気を抜き、本機からエアホースを外してください。

2 本体やグリップの油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしてください。



- ・ガソリン、シンナー、石油等での清掃は本体を傷めますので、おやめください。
- ・水洗いは絶対にしないでください。

3 各部取付ねじのゆるみ、本体の破損などの点検を行い適切な場所へ保管してください。

- 各部取付ねじを点検し、ゆるんでいたら締め直してください。
- 本体や付属品に破損が無い点検し、破損している場合はそのまま使用せず、お買い求めの販売店もしくは発売元までご連絡ください。



次の場所には保管しないでください。

- 軒先など雨がかったり、湿気のある所
- お子様の手が届いたり、持ち出せる場所
- 直射日光の当たる所

各部の名称

安全上の注意

ご使用前の準備

使いかた

その他



故障かな?と思ったら

●次のチェックリストに沿って点検を行ってください。

症 状	原 因	解 決 方 法
スイッチを引いても作動しない。	①エアコンプレッサから空気が供給されていない。	①エアコンプレッサの電源、エアコックが開かれているか、エアホースが接続されているか確認してください。
スイッチを引いてもソケット差込角が回転せず、空気排出口から空気が排出される。	①エアモータ部が固まっている。	①本機の空気接続口より給油を行い、手でソケット差込角を数回、回してください。 P7
回転が不安定。	①エアモータ部が汚れている。	①本機の空気接続口より給油を行ってください。 P7
トルクが弱い。 回転が遅い。	①エアコンプレッサの圧力が下がっている。	①エアコンプレッサの圧力が上がるまで待ってください。
	②エアコンプレッサのレギュレータの圧力設定が低い。	②エアコンプレッサのレギュレータの圧力設定を本機使用圧力まで上げてください。
	③エアホースが細すぎる。 エアホースが長すぎる。	③エアホースを短くする、もしくは太くする。または、短く・太くしてください。
	④本機のトルク調整が低く設定されている	④本機のトルク設定を強にしてください。 P9
	⑤エアモータ部が汚れている。	⑤本機の空気接続口より給油を行ってください。 P7
空気排出口から汚れたオイルが出てくる。	①エアモータ部が汚れている。	①本機の空気接続口より給油を行ってください。 P7
空気排出口からオイルが大量に出てくる。	①オイルの入れすぎ。	①空気排出口をタオルなどで押さえ、数秒間運転してください。

※上記のチェックを行っても正常に作動しない場合や、不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または発売元までご連絡ください。お問い合わせや、ご連絡がないまま直接発売元に修理品などを送付されても、処理・対応ができない場合がありますので、ご了承ください。

■仕様(本体)

型 式	AIM-240PA
ソケット差込角	12.7mm (1/2 DR)
最高使用圧力	0.60MPa
締め付けトルク (2段階・正回転のみ)	弱 約130N・m 強 約240N・m
回 転 速 度	約5,000min ⁻¹
空 気 消 費 量	約140L/min
本 体 質 量	約1.8kg
セ ッ ト 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●本体 1個 ●インパクトレンチ用ソケット (17・19mm) 各1個 ●カプラプラグ R 1/4 1個 ●ブローケース 1個

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な状態で使用し、故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

品 名	エアインパクトレンチ		お買い上げ日※	年 月 日	
型 式	AIM-240PA		保証期間	6ヶ月	
お客様※	ご住所	〒	販売店※	住 所 名	電 話 番 号
	ご氏名	様			
	電話番号	- () -			

※印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理になります。

- ①本書の提示がない場合。
- ②本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。あるいは文字を書き替えられた場合。
- ③使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ④お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障及び損傷。
- ⑤火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- ⑥一般家庭用以外 (例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載) に使用された場合の故障及び損傷。
- ⑦リサイクル業者や、使用者等による再販など、当社の責任範囲を超える場合。
- ⑧日本国外での使用。

2. 本書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

発売元 **株式会社パオック**

〒955-0061 新潟県三条市林町2-5-21
TEL:(0256)33-5574 FAX:(0256)33-5559
URL <http://www.paock.co.jp>